20240911　枚方市 危機管理部

総務常任委員会の所管事務調査

防災の取組と災害発生時の対応等について

テーマ
市の現状

01　市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02　自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

03　災害発生時の情報伝達について

04　避難体制及び訓練状況について

05　消防団との連携について

テーマ
市の課題

01　高齢化の進む地域等の連携体制

02　訓練参加状況等に係る地域間格差

03　他市における先進的な取組

- 常設の災害対策本部
- 電子回覧等ICT利活用

04　能登半島地震の対応を教訓として

- 受援のしくみや連携について

テーマ
市の現状

01 市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02 自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

03 災害発生時の情報伝達について

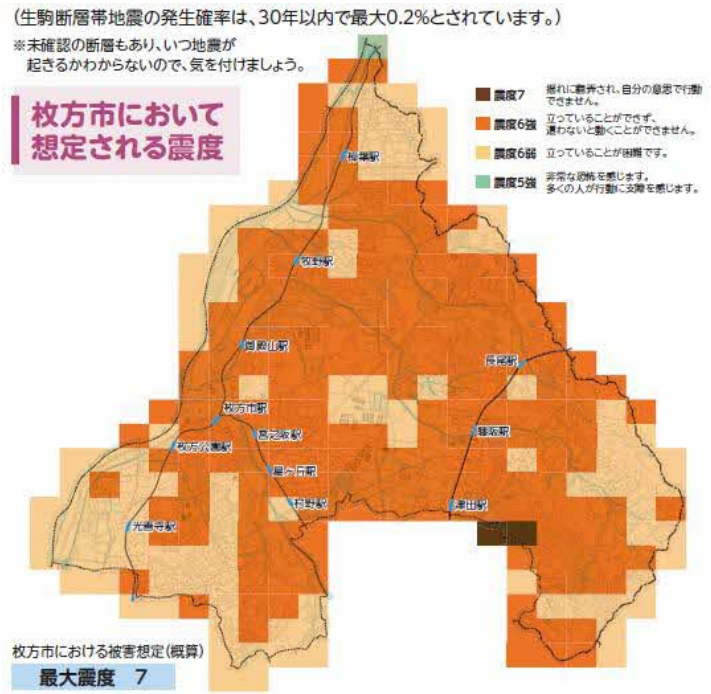
04 避難体制及び訓練状況について

05 消防団との連携について

受入人数

災害別　想定避難者数

生駒断層帯地震



想定避難者数　47,000人

南海トラフ巨大地震

想定避難者数　34,000人

受入人数

第１次・2次、福祉避難所

受入可能人数は面積ベースで算定　1人 2㎡

避難所｜種別・箇所数	受入可能者数	備考
第1次避難所 52箇所	約67,000人	地震・風水害で開設 震度6弱で全開設
第2次避難所 19箇所	※防災計画上は未算定 約19,000人	第1次避難所の バックアップ施設 （過密・損壊で開設）
福祉避難所 2箇所 ＋協定施設23箇所	約500人 ＋協定締結施設	協定締結施設には 既に利用者がおられる ため受け入れは限定的

避難所開設における校区同士の連携

避難所となる小学校の運営は、地元の自主防災組織が担う

2つの例外

例外１　小学校以外の避難所を複数校区で運営

校舎	階	室名	面積(㎡)	使用地区名	人数
本館	１Ｆ	講師控室	66.10		24
		応接室	22.03	備蓄品保管	
	２Ｆ	講師控室	33.05		12
		第２教室	103.11		40
		第３教室	103.11		40
	３Ｆ	教授室	33.05		12
		視聴覚教室	103.11		40
１号館	２Ｆ	コンピューター実習室 1201	211.32	殿二校区	80
(旧アネックス)	３Ｆ	第１セミナー室 1304	86.00	牧野校区	32
		第１セミナー室 1305	86.00	西牧野校区	32
		第１セミナー室 1306	87.70	招提・平野校区	32
		第１会議室 1301	88.10	５校区外避難者	32
３号棟	１Ｆ	第２学習自習室	90.40	大規模災害時のみ	
(旧技工士学校)	３Ｆ	第１中講義室	132.80		
		第２中講義室	132.90		
		第１小講義室	80.90		
		第２小講義室	80.90		
福利厚生棟	１Ｆ	学生ホール	280.40	避難者受付	104
(食堂)	２Ｆ	食堂（厨房室）	261.50	食事等利用	104
体育館	１Ｆ	剣道場	222.52	大規模災害時のみ	80
		卓球場	295.74		104
	２Ｆ	競技場	1310.67		526
グランド			11917.48	テント等設営	

牧野6校区で大阪歯科大学を連携して運営
⇒どの校区がどの部屋を利用するか等を整理

※殿2、牧野、招提、平野、西牧野、小倉

避難所開設における校区同士の連携

例外２　水害時における広域避難

広域避難とは『校区をまたぐ避難』のこと。 立退き避難が必要な方が、最寄りの浸水する避難所ではなく、より安全な浸水しない避難所に避難すること。

避難所開設における校区同士の連携

例外２　水害時における広域避難

広域避難のルール化（避難する校区、受け入れる校区）の協議が完了した件数

避難する校区（浸水内）	受け入れる校区（浸水外）	実動訓練等
伊加賀小学校	枚方小学校	R6総合防災訓練で実動訓練を予定
藤阪小学校	田口山小学校 菅原小学校	R5総合防災訓練　実動訓練　まち歩き

避難所における女性視点の対応

２つの資料で校区自主防災組織と共有（HPにアップ）

枚方市避難所運営マニュアル

令和６年６月（改定）

枚　方　市

■更新履歴

更新日	更新内容
平成 20 年３月	初版
平成 26 年４月	全体的な文言修正、様式等の追加
平成 28 年３月	【第３章】避難所の開設（初動期）　加筆修正
平成 29 年９月	参考資料１　避難所　初動期（開設に係る）フロー図等の追加
令和２年４月	建物被災状況チェックシートの改訂
令和３年４月	関連書類３、関連書類５、関連書類６の改訂
令和５年４月	【第１章】避難所運営に係る平時の取組み　加筆修正、文言修正、関連書類６の改訂
令和５年７月	感染症対策に対する文言、様式等の追加
令和６年６月	ペットに関する文言、様式等の追加

抜粋

女性視点の対応 記載内容

記載項目	記載内容
物資等の配布場所	天候に左右されないよう、屋根のある広い場所を確保するか、又は屋外にテントを張ることが考えられる。 女性用品の配布に配慮する。（生理用品や下着等）
更衣室	女性用更衣室は、授乳場所も兼ねることがあるため、 速やかに個室を確保する。（又は仕切りを設ける。）
仮設トイレ	男性用・女性用は明確に区分するとともに、女性用トイレ は男性用トイレに比べて混みやすいことから、数を多めに設定することが望ましい （女性用対男性用の割合は3：1が理想的であ る）。
性的マイノリティへの対応	●困りごと ＊誰にも話せないつらさ、話すことへの不安 ＊周囲の理解不足、根強い偏見 ＊更衣室、共同浴場、トイレなど ＊物資について周囲の認識と当事者の欲するものとが一致しない場合、受け取ることが難しい（下着や衣類、化粧品など） ●必要とする支援・配慮 ＊多目的トイレ（着替えや体の清拭などのスペースになる） ＊相談や支援を実施する際はプライバシーに配慮する ＊当事者や支援者が安心して集まれる場所

テーマ
市の現状

01 市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02 自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

03 災害発生時の情報伝達について

04 避難体制及び訓練状況について

05 消防団との連携について

自主防災組織と地区防災計画

地区防災計画とは

校区が実施する自主防災訓練の計画等を地区防災計画として整理することで、地域における防災の取組みを継承

様式
自由

策定校区数　23校区

策定自治会数　31自治会

テーマ
市の現状

01 市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02 自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

03 災害発生時の情報伝達について

04 避難体制及び訓練状況について

05 消防団との連携について

避難情報の発令基準と防災体制

防災ガイド
P7～

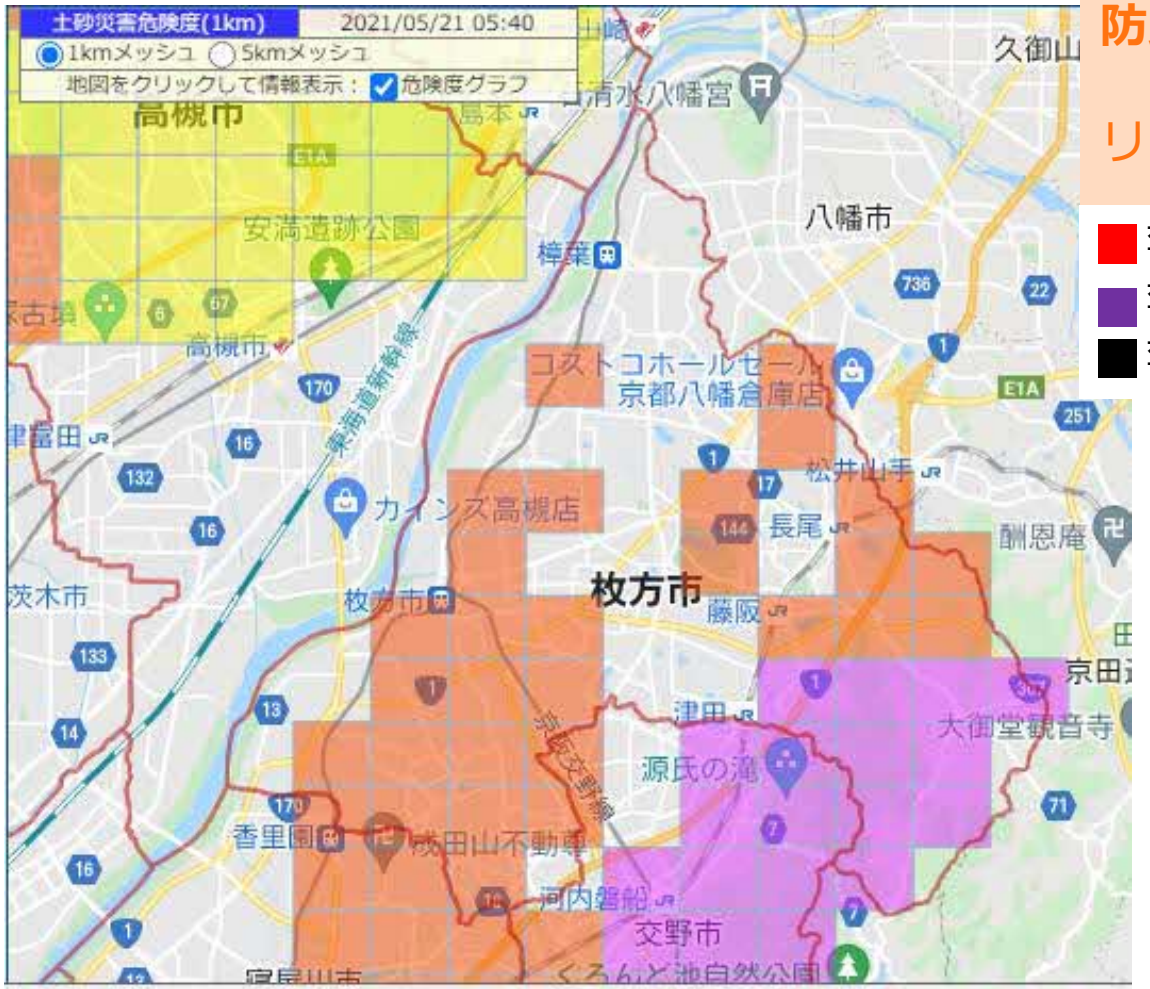
避難情報の発令基準と防災体制

□体制移行のトリガー　●避難情報発令のトリガー

気象状況等(指標)	市の防災体制	避難情報/避難所開設
□●特別警報(洪水・土砂災害) □●土砂のメッシュ情報が警戒レベル5(黒)に到達 □●河川水位が警戒レベル5の基準に到達 ※ その他　災害の発生	災害対策本部体制	警戒レベル5 緊急安全確保
□●土砂災害警戒情報 □●土砂のメッシュ情報が警戒レベル4(紫)に到達 □●河川水位が警戒レベル4の基準に到達し上昇の見込み ※その他　軽微な災害の発生	災害警戒本部体制 又は 災害対策本部体制	警戒レベル4 避難指示発令 (同時に避難所開設)
□●大雨警報(土砂災害)かつ土砂メッシュ情報が警戒レベル3(赤)に到達 □●河川水位が警戒レベル3の基準(赤)に到達	災害警戒本部体制	警戒レベル3 高齢者等避難発令 (同時に避難所開設)
□大雨警報(土砂災害)が発表され、土砂災害リスクの3時間後予測がCL(土砂災害発生基準線)を突破。 かつウェザーニューズが提供するリスクスケールが2になった場合に危機管理部長が判断 □台風の接近が見込まれるとき(気象庁 台風説明会)	情報収集体制	

【参考】土砂災害に関する避難情報判断基準

＜基本基準＞



公式LINE
防災ページ

リアルタイムで確認可能

- 警戒レベル3　高齢者等避難
- 警戒レベル4　避難指示
- 警戒レベル5　緊急安全確保

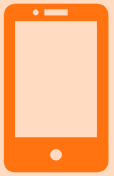
【参考】水害（洪水）に関する避難情報判断基準

＜基本基準＞ 各河川水位に基づき避難情報を発令

	木津川	淀川	船橋川	穂谷川	天野川
警戒レベル5 緊急安全確保	破堤後 5時間が経過	はん濫開始相当 水位 8.38m	はん濫開始相当 水位 4.1m	はん濫開始相当 水位 3.55m	はん濫開始相当 水位 5.66m
警戒レベル4 避難指示	破堤後 3.5 時間が経過	はん濫危険水位 6.0m ※	はん濫危険水位 3.20m	はん濫危険水位 2.70m	はん濫危険水位 4.50m
警戒レベル3 高齢者等避難		避難判断水位 5.40m	避難判断水位 3.10m	避難判断水位 2.60m	避難判断水位 4.30m

※木津川については、本市を流れる河川ではないが、浸水リスクが想定されているため、破堤してからの経過時間を、判断基準とする

公式LINE
防災ページ



リアルタイムで確認可能

各防災体制における構成部一覧

令和6年　部局	情報収集	警戒本部
危機管理部	○	○
市長公室	○	○
総合政策部		
市駅周辺まち活性化部		
市民生活部		
総務部	○	○
観光にぎわい部	○	○
健康福祉部		○
保健所		○
福祉事務所		○
子ども未来部		○

各防災体制における構成部一覧

令和6年　部局	情報収集	警戒本部
環境部		
都市整備部	○	○
土木部	○	○
会計課		
上下水道部	○	○
病院事務局		
総合教育部	○	○
学校教育部		○
市議会事務局		○
監査委員事務局		
農業委員会事務局		

開設対象となる避難所一覧

第1次避難所（指定緊急避難場所 兼 指定避難所）

No.	施設・場所名	所在地	電話番号	FAX番号	対象とする異常な現象の種類						
					洪水					がけ崩れ土石流および地滑り	地震
					淀川	木津川	船橋川	穂谷川	天野川		
1	樟葉北小学校	楠葉野田3-13-1	050-7102-9136	868-1061	○	○	○				○
2	樟葉小学校	南楠葉2-40-6	050-7102-9048	857-2300	※	○	○				○
3	樟葉西小学校	楠葉並木1-11-1	050-7102-9108	855-1573	※		※				○
4	樟葉南小学校	楠葉美咲1-25-1	050-7102-9096	857-2175	○		○				○
5	船橋小学校	東山1-68	050-7102-9140	868-1251	○		※				○
6	牧野小学校	上島東町4-18	050-7102-9072	857-2566	※		※	○		○	○
7	殿山第二小学校	養父丘2-7-53	050-7102-9044	857-7043	○		○	○			○
8	招提小学校	招提東町2-2-8	050-7102-9084	856-1749	○		○	○			○
9	平野小学校	招提中町1-53-1	050-7102-9160	868-7555	○		○	※			○
10	大阪歯科大学牧野学舎	牧野本町1-4-4	856-2111	868-5148	○		○	○	○		○
11	牧野生涯学習市民センター牧野北分館	牧野北町11-1	050-7102-3170	850-1761			○	○	○		○
12	西牧野小学校	西牧野2-1-1	050-7102-9116	851-0035	※		○	※	※		○

第1次避難所(指定緊急避難場所 兼 指定避難所)

No.	施設・場所名	所在地	電話番号	FAX番号	対象とする異常な現象の種類						
					洪水					土砂崩れ(がけ崩れ、土石流および地滑り)	地震
					淀川	木津川	船橋川	穂谷川	天野川		
13	小倉小学校	小倉町29-1	050-7102-9092	857-2173	※			※	○		○
14	交北小学校	交北2-30-5	050-7102-9076	856-1112	○			※			○
15	山田東小学校	田口3-16-1	050-7102-9152	849-9235	○			※			○
16	枚方市立総合体育館	中宮大池4-10-1	848-4800	840-4495				※			○
17	殿山第一小学校	上野1-6-5	050-7102-9040	847-5127	○			○	○	○	○
18	山田小学校	甲斐田町1-27	050-7102-9032	847-5131	○			※			○
19	禁野小学校	中宮北町4-1	050-7102-9148	849-7751	○			○	○	○	○
20	磯島小学校	磯島北町3-1	050-7102-9100	849-2214	※			※	※		○
21	中宮小学校	中宮山戸町22-3	050-7102-9088	849-2255	○			○	○	○	○
22	明倫小学校	中宮西之町10-6	050-7102-9036	847-5135	○			○	○	○	○
23	桜丘北小学校	星丘4-31-1	050-7102-9128	847-2662				○	○		○
24	桜丘小学校	村野本町30-1	050-7102-9028	840-5767				○	○	○	○
25	総合文化芸術センター別館(旧メセナひらかた会館)	新町2-1-5	843-5551	843-5700	※			○	※		○
26	枚方公園青少年センター	伊加賀東町6-8	050-7102-3145	843-4699	※				※		○
27	枚方小学校	枚方上之町9-21	050-7102-9000	845-0086	○			○	○	○	○
28	枚方第二小学校	田宮本町11-1	050-7102-9004	843-5125	○			○	※	○	○
29	サプリ村野	村野西町5-1	805-0105	805-0110				※	※		○
30	山之上小学校	山之上1-32-1	050-7102-9068	841-0369				○	○	○	○
31	川越小学校	釈尊寺町30-1	050-7102-9120	853-6800				○	○	○	○
32	蹉跎東小学校	翠香園町30-1	050-7102-9124	846-6433	○				○	○	○
33	五常小学校	香里ヶ丘6-9	050-7102-9020	854-0441						○	○
34	開成小学校	香里ヶ丘2-5	050-7102-9016	854-0410					○	○	○

第1次避難所(指定緊急避難場所 兼 指定避難所)

No.	施設・場所名	所在地	電話番号	FAX番号	対象とする異常な現象の種類						
					洪水					土砂災害	地震
					淀川	木津川	船橋川	穂谷川	天野川	土石流および地滑り	
35	伊加賀小学校	伊加賀西町53-1	050-7102-9172	846-5066	※				○		○
36	蹉跎小学校	北中振2-11-21	050-7102-9008	833-6600	○				○	○	○
37	香陽小学校	香里ヶ丘11-36-1	050-7102-9080	854-7981						○	○
38	蹉跎西小学校	出口6-20-1	050-7102-9104	832-8222	※				○		○
39	第二中学校	香里園東之町20-26	050-7102-9185	832-3624	○					○	○
40	香里小学校	香里ヶ丘10-5-2	050-7102-9012	854-0550						○	○
41	春日小学校	高田2-15-10	050-7102-9024	854-0036						○	○
42	東香里小学校	東香里南町44-1	050-7102-9168	853-7222							○
43	長尾小学校	長尾北町3-3-2	050-7102-9164	851-6400			※				○
44	西長尾小学校	長尾西町2-45-1	050-7102-9176	850-8400			○			○	○
45	田口山小学校	田口山3-10-1	050-7102-9112	851-0025				○		○	○
46	菅原小学校	藤阪中町13-1	050-7102-9056	857-6053				○			○
47	菅原東小学校	藤阪東町3-10-1	050-7102-9144	858-2125				○		○	○
48	藤阪小学校	藤阪南町1-40-1	050-7102-9156	868-0565				※			○
49	氷室小学校	尊延寺3-1-38	050-7102-9060	858-8244						○	○
50	関西外国語大学学研都市キャンパス	穂谷1-10-1	858-0021	858-3331						○	○
51	津田小学校	津田西町1-33-1	050-7102-9052	858-8034				○		○	○
52	津田南小学校	津田西町3-10-1	050-7102-9132	859-2000				○		○	○

テーマ
市の現状

01 市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02 自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

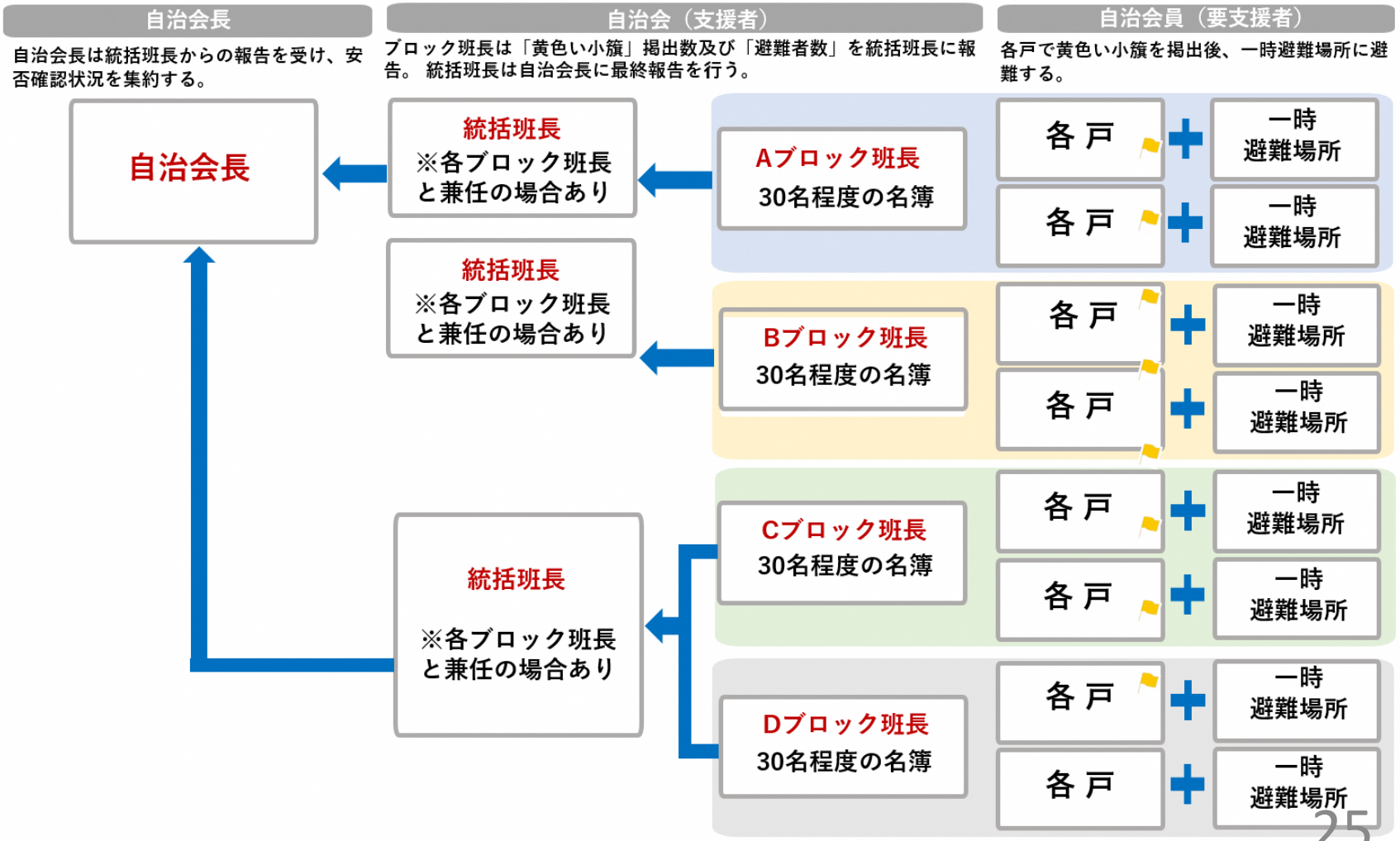
03 災害発生時の情報伝達について

04 避難体制及び訓練状況について

05 消防団との連携について

避難体制及び訓練状況について

避難体制の先進事例　西船橋自治会



テーマ
市の現状

01 市の現状（避難所）について

- 第2次避難所、福祉避難所
- 避難所開設における校区同士の連携
- 避難所における女性視点の対応（更衣室、手洗い等）

02 自主防災組織について

- 地区防災計画の取り組みと現状

03 災害発生時の情報伝達について

04 避難体制及び訓練状況について

05 消防団との連携について

消防団との連携 災害リスクの変化

火災・自然災害	発生頻度	傾向
地震	南海トラフ巨大地震 30年間で70～80%	↑ 上昇
洪水・土砂・大雨	地球温暖化による 豪雨の発生頻度増化	↑ 上昇
火災 （枚方寝屋川）	出動件数 平成25年215件 令和　4年170件	↓ 減少 10年間で21%
救急・救命 （枚方寝屋川）	出動件数 平成25年31,364件 令和　4年43,936件	↑ 上昇 10年間で40%

火災以外の災害対応の重要度が相対的に上昇した

消防団との連携　団の役割

活動マニュアル	具体の活動
・地震・風水害の防ぎょ ・常備消防の補完（火災）	各種訓練 山林火災予防訓練 文化財防火訓練
・自主防災組織（地域）と連携	・自主防災訓練の支援 （放水披露、救命講習）
・後方活動　情報収集 ・火災予防、防災啓発 （応急救護の講習）	・MCA無線訓練 ・応急救命講習（ブース） ・生涯学習市民C展示
・その他 防火指導、イベント	・イベント出展 総合防災訓練／五六市 ・ホームページの充実 ・火災予防デー

消防団｜自主防災組織と連携

これまでの取り組み

防災訓練の指導・支援

HUG・啓発を充実

近年の取り組みR4・R5

R4
コミュニティ連協役員との
意見交換会を実施
（団長・副団長）

R5
自主防災組織ネットワーク会議
団長・副団長参加
（校区と）意見交換

テーマ
市の課題

01　高齢化の進む地域等の連携体制

02　訓練参加状況等に係る地域間格差

03　他市における先進的な取組

- 常設の災害対策本部
- 電子回覧等ICT利活用

04　能登半島地震の対応を教訓として

- 受援のしくみや連携について

地域等の課題｜高齢化・人材

1.有資格者等情報の集め方

✔各自治会から募る（防災委員として吸い上げ）
✔毎年40名程度
✔集めた人材の特技や専門性を把握し、リスト化。

先進事例
船橋校区

2.人材の種類

✔パソコンできる、運転できる、力仕事可、子供のお世話、特殊車両の運転、看護師の有資格者など

3.人材の活かし方

✔作業内容等に応じて、リストからピックアップし、割り当てる。

✔防災委員にはベストを支給。交代されても渡したままにしておき（5年間）、万が一の際には協力をお願いできるように、OBとして把握しておく。

4.命令系統の一本化

✔自治会長に防災委員も兼ねてもらうことで、自主防災組織の中での決定事項等を、確実に各自治会員に伝えられるようにしている。

訓練参加状況等に係る地域間格差

幅広い世代(子供から大人まで)参加してもらえるような訓練事例

✔何かのイベントと紐づけて実施

✔校区の餅つき大会や土曜日授業

✔山田東校区は毎年土曜日授業として防災訓練を実施

先進事例
山田東校区

●訓練スケジュール

時間	メニュー	担当	場所
9:50	開会式		運動場
	会長挨拶、関係機関紹介等		
	ひらポ説明	― 危機管理部	
	放水披露	― 山田分団	
10:25	訓練開始(1メニュー30分×2メニュー＋α)		
	①消火器訓練、防災クイズ	― 山田分団、女性分団	
	②防災グッズ使用訓練・震災ケア体操	― 校区・NPO	
(10:35～,11:05～)	AED訓練(…①②に参加しない大人向け)	― 女性分団	
11:30頃	流れ解散		
	ひらポ付与	― 危機管理部	

防災施設

他市における先進的な取組

施設機能

発電機を屋上に

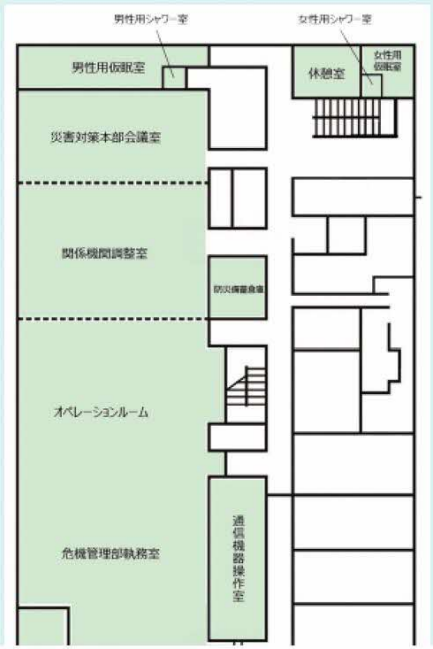
支援車両等の導線確保

災対本部機能

映像制御システム【北九州市】

仮眠・シャワー室【千葉市】

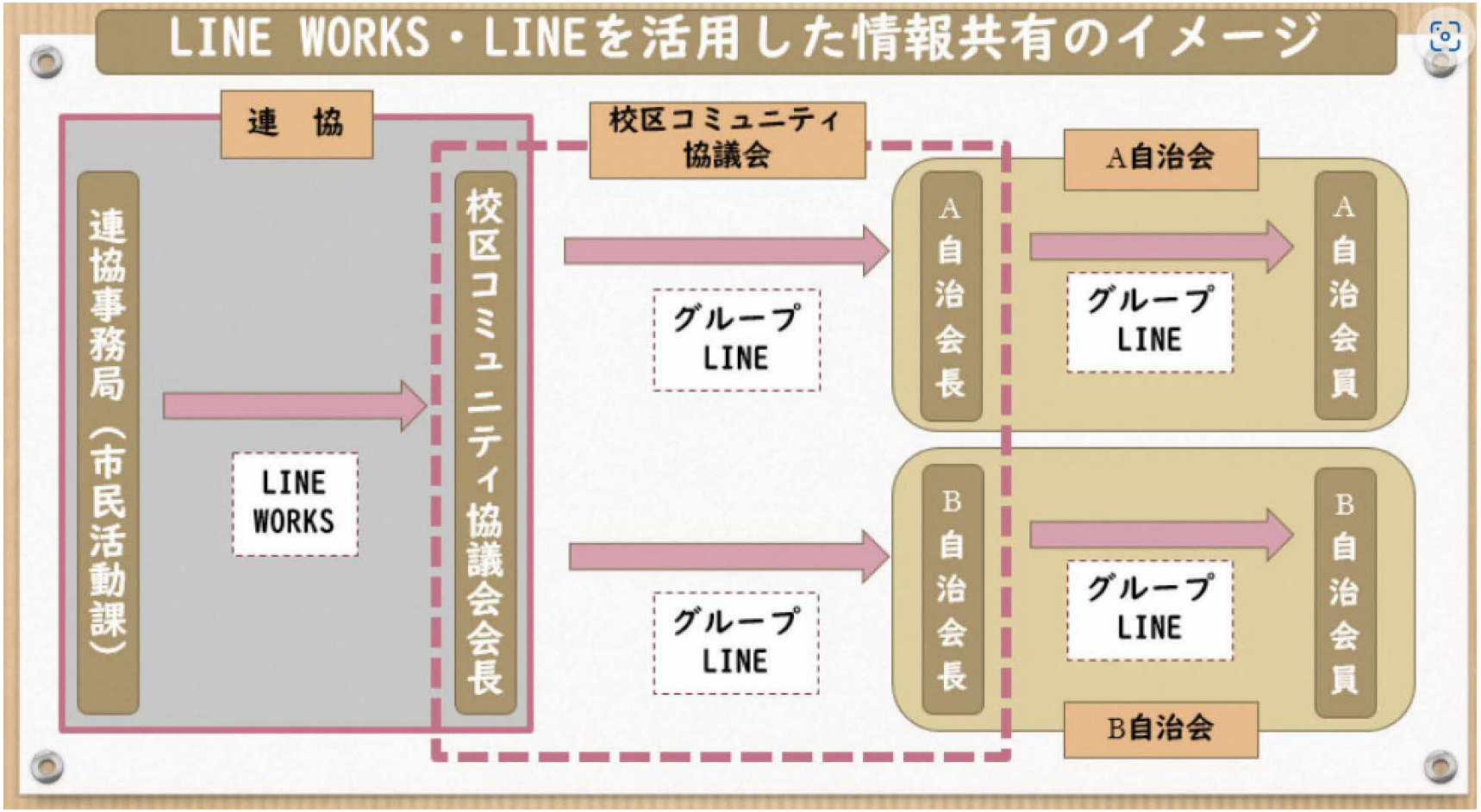
その他



防災機能をワンフロアに【千葉市】

電子回覧

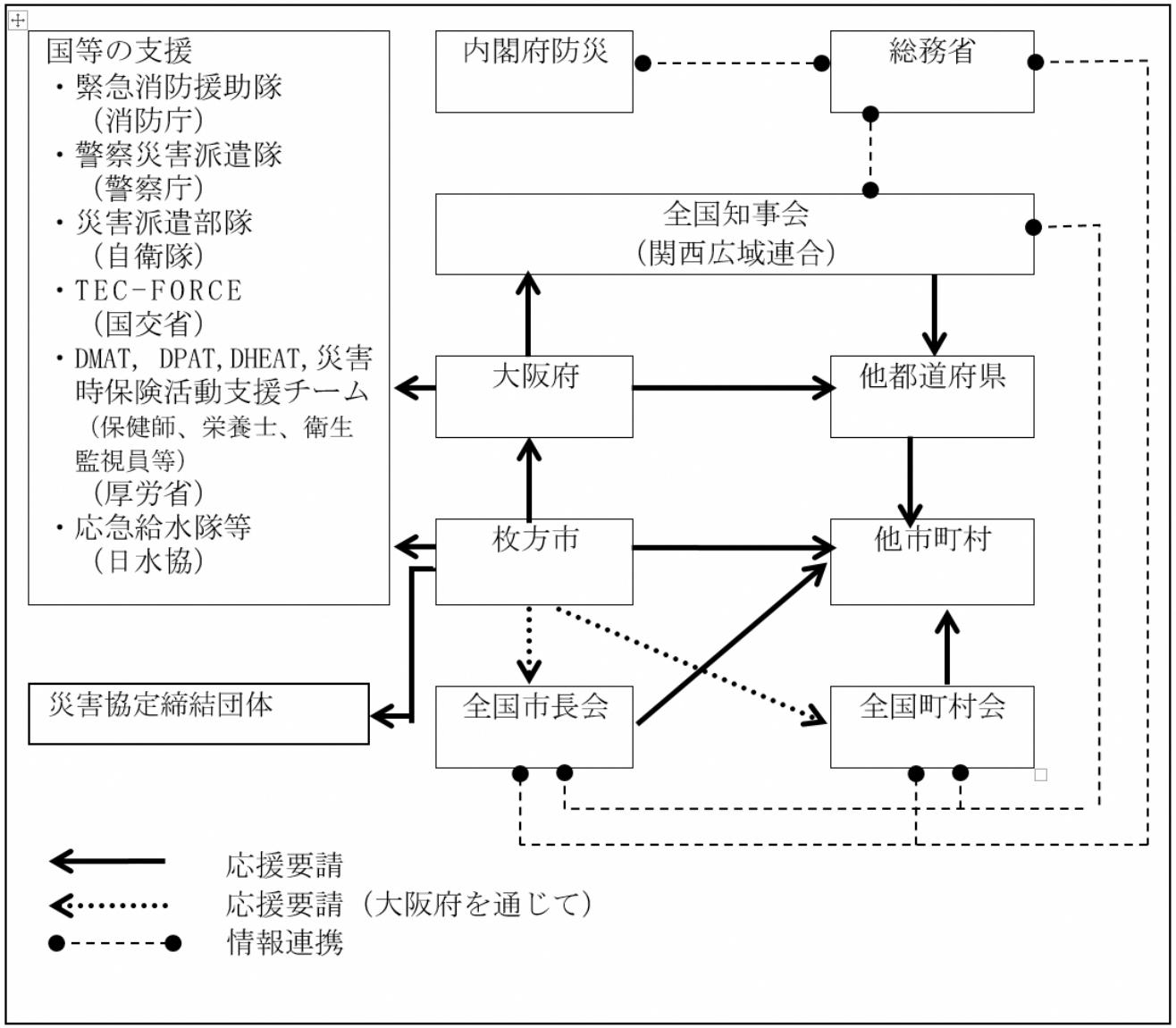
その他先進的な取組



ローカルな情報を迅速に提供できる｜一律に配信は難しい（地域によって温度差）

受援体制

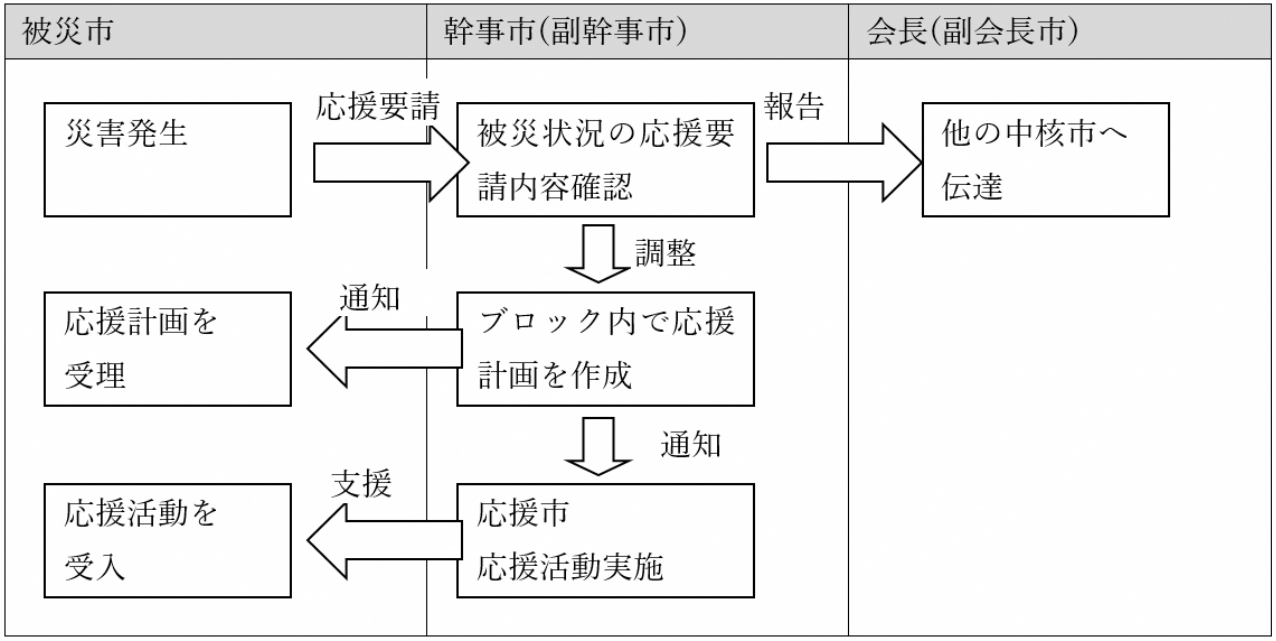
能登半島地震の教訓



中核市協定

能登半島地震の教訓

中核市市長会　応援協定　要請・支援に関する　フローチャート　概略図



※　被害があった場合、①近畿・中国ブロックというグループ内で対応、ブロック内で対応できない場合、②応援チームで相互応援体制を構築する。

震度5弱以上・特別警報等で情報を共有することをルール化している

中核市
協定

能登半島地震の教訓

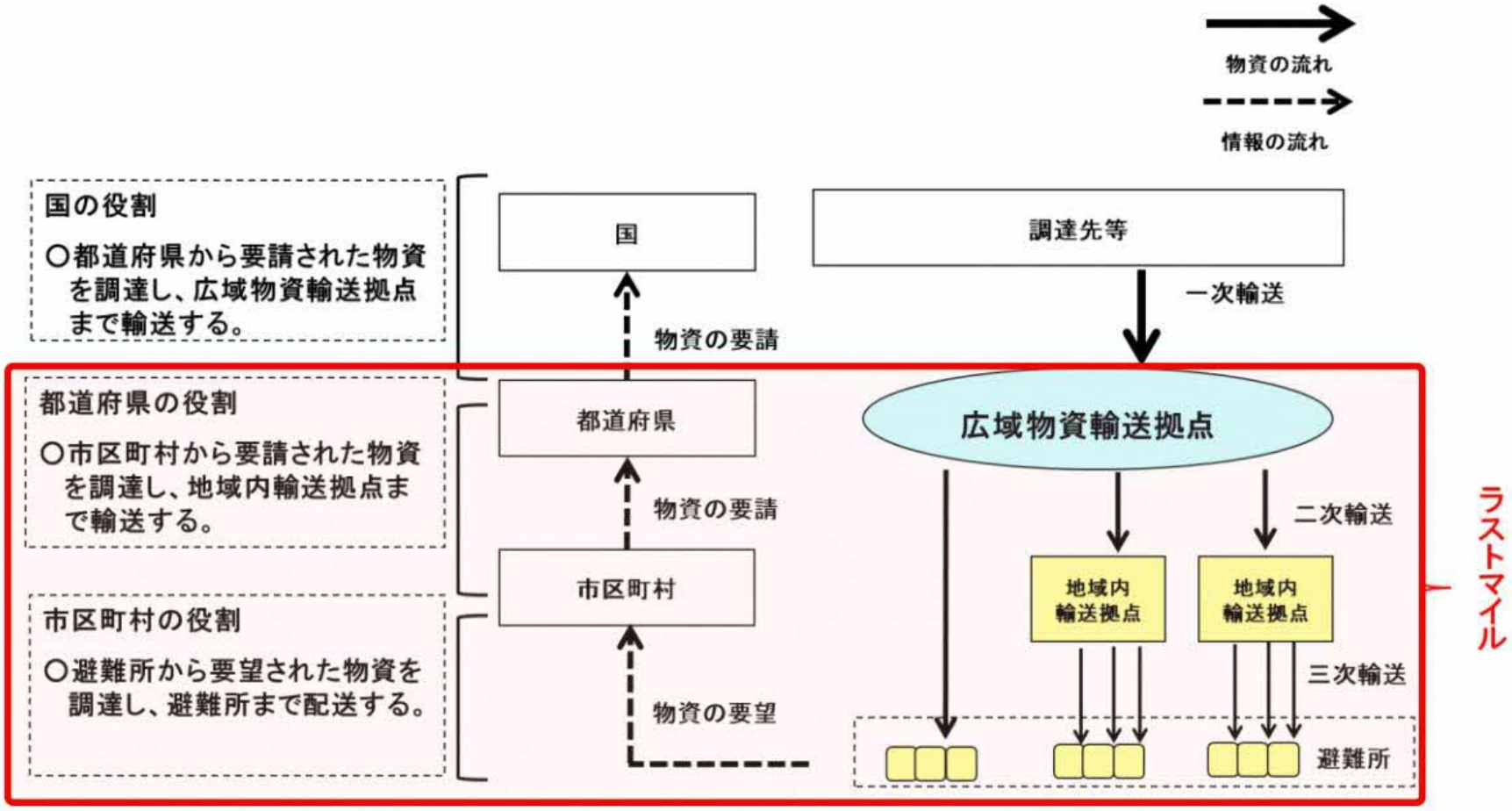
中核市市長会防災担当者会議　役員市の経過

役員名		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会長		静岡市	静岡市	姫路市	姫路市	豊田市	豊田市	長崎市	長崎市	岐阜市	岐阜市	和歌山市	和歌山市	豊橋市	豊橋市	奈良市	奈良市	倉敷市	倉敷市	豊田市	豊田市	高槻市	高槻市	福島市	福島市
副会長		姫路市	姫路市	豊田市	豊田市	長崎市	長崎市	岐阜市	岐阜市	宮崎市	宮崎市	豊橋市	豊橋市	奈良市	奈良市	横須賀市	横須賀市	柏市	柏市	宮崎市	高槻市	大分市	大分市	山形市	一宮市
		豊田市	豊田市	長崎市	長崎市	新潟市	新潟市	宮崎市	宮崎市	豊橋市	豊橋市	高松市	高松市	横須賀市	横須賀市	倉敷市	倉敷市	豊田市	豊田市	柏市	柏市	柏市	枚方市	水戸市	豊中市
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高槻市	高槻市	高知市	大分市	枚方市	福島市	一宮市	水戸市
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	宮崎市	宮崎市	盛岡市	盛岡市	福島市	水戸市	豊中市	松江市
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	–	–	岡崎市	岡崎市	-	山形市	松江市	松山市
北海道・東北・関東ブロック	幹事	郡山市	旭川市	いわき市	横須賀市	川越市	船橋市	秋田市	相模原市	函館市	青森市	柏市	盛岡市	前橋市	宇都宮市	郡山市	高崎市	旭川市	越谷市	いわき市	八王子市	八戸市	秋田市	川口市	函館市
	副幹事	旭川市	いわき市	横須賀市	川越市	船橋市	秋田市	相模原市	函館市	青森市	柏市	盛岡市	前橋市	宇都宮市	郡山市	高崎市	旭川市	越谷市	いわき市	八王子市	八戸市	水戸市	川口市	函館市	横須賀市
中部ブロック	幹事	富山市	浜松市	金沢市	豊橋市	長野市	岡崎市	富山市	豊田市	金沢市	岐阜市	長野市	岡崎市	富山市	豊田市	金沢市	岐阜市	長野市	豊橋市	富山市	甲府市	福井市	松本市	金沢市	岐阜市
	副幹事	浜松市	金沢市	豊橋市	長野市	岡崎市	新潟市	豊田市	金沢市	岐阜市	長野市	岡崎市	富山市	豊田市	金沢市	岐阜市	長野市	豊橋市	岡崎市	甲府市	福井市	松本市	一宮市	岐阜市	豊田市
近畿・中国ブロック	幹事	和歌山市	福山市	高松市	堺市	松山市	姫路市	岡山市	奈良市	倉敷市	高槻市	東大阪市	下関市	大津市	西宮市	豊中市	尼崎市	枚方市	呉市	和歌山市	鳥取市	明石市	松江市	八尾市	福山市
	副幹事	福山市	高松市	堺市	松山市	姫路市	岡山市	奈良市	倉敷市	高槻市	東大阪市	下関市	大津市	西宮市	豊中市	尼崎市	枚方市	呉市	和歌山市	鳥取市	明石市	松江市	八尾市	福山市	寝屋川市
四国・九州ブロック	幹事	大分市	宮崎市	鹿児島市	長崎市	熊本市	大分市	鹿児島市	長崎市	高知市	熊本市	高松市	大分市	松山市	宮崎市	高知市	久留米市	那覇市	佐世保市	鹿児島市	長崎市	高松市	松山市	宮崎市	高知市
	副幹事	宮崎市	鹿児島市	長崎市	熊本市	大分市	鹿児島市	長崎市	高知市	熊本市	高松市	大分市	松山市	宮崎市	高知市	久留米市	那覇市	佐世保市	鹿児島市	長崎市	高松市	松山市	宮崎市	高知市	久留米市

※平成20年度から四国が近畿・中国ブロックから九州ブロックへ移行
※会長および副会長は、中核市市長会と連動して選出

仮に枚方市が支援を求める場合は、福山市に依頼する

人的支援・物的支援を生かす

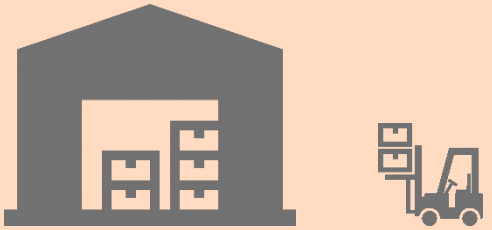


物資がたくさん入ってくるが、物資集積所の整備に課題がある

人的支援・物的支援を生かす

物資を捌ける防災倉庫機能とは

- 10t トラックの横付けが可能
- フォークリフトでの積み下ろしが可能
- 荷捌きができる（荷捌きスペースがある）



上記機能を有する倉庫を確保している自治体が倉敷市　面積約1,000㎡